

# 議会だより 上野原市

## 第30号

平成24年8月25日発行

市民と議会を結ぶ架け橋



「暑さなんかには負けないぞ!!」(島田保育所)

## 6月定例会



主

な

記

事

- 議会だより第30号の発行にあたって ……………P2
- 定例会の議決結果等一覧表 ……………P3
- 委員会報告 …………… P4～P7
- 一般質問 …………… P8～P12
- 動議 杉本公文議長の不信任決議案 …………… P13
- 研修会等 …………… P14
- 第3回定例会のお知らせ・近隣との連携 …………… P15
- 市民の声・議会活動・あとかぎ …………… P16

# 第2回定例会

平成24年第2回定例会は、6月5日(火)から6月20日(水)までの16日間の会期で開催され、市長提出の条例制定や補正予算など17件に加え、請願1件、動議1件を審議しました。

委員会に付託された案件につきましては各委員会報告を、議決結果等については次ページをご覧ください。

## 市長提出議案 17件

- 専決処分承認…………… 8件
- 条例制定(一部改正) …… 3件
- 平成24年度補正予算 …… 2件
- その他の議決案件………… 4件

## 議員提出議案 1件

「上野原市議会議長の不信任決議案」

## 請願 1件

「上野原市巖保育所移設計画に伴う市巖出張所および四方津公民館の併設に関する請願書」

◆上野原市ホームページで、会議録を公開しております。是非ご覧ください。

### 議会だより第30号の発行にあたって

議会だより編集委員長 山口好昭

市民の皆様には、日頃より議会だより発行について、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、議会だよりは、年四回、各定例会閉会後に発行しています。

六月定例会の内容等についても編集の上、第三十号として八月初旬に各戸に配布する予定でしたが、発行が一ヶ月遅れ、九月の配布となってしまいました。編集委員長として、心よりお詫び申し上げます。

このことにつきまして、三月定例会において、議長は議員間の相反する意見を調整し、執行部との連携調和を図るべき中立的な立場にありながら、市長を告訴したことなどの理由により、議長の辞職勧告決議案が提出され、賛成多数により可決されたことが起因しています。公平・公正であるべき

議長挨拶の記述内容についても、委員より毎回訂正が求められていました。さらに最大の理由は、多数決を基本とする議会において賛成多数により決議されたにもかかわらず、依然として議長職に留まる行動に対し、決議に賛成した立場から、議長名発行の議会だよりの編集委員を辞任したいと、六月八日、六人中三人の委員から辞任願が提出され、委員長として私も編集委員会を混乱させた責任を痛感し辞任願を議長に提出いたしました。

六月定例会の最終日には、議長の行動、態度を不満として議会だより編集委員から辞任願が出されるという異常事態を招いたこと、また、議会の事務を統理し代表する議長が減多に議長室に在席していないことを理由とする議長の不信任決議案

が提出され、またも賛成多数で可決されました。この間にも、議会運営委員会及び議員全員協議会等において、議会だよりを発行するための調整が続けられ、議会運営委員会の調整案として、議長あいさつ及び発行者名の削除を条件に、辞任した四人には編集委員会に戻ってもらい、何とか編集、発行してほしいとの決定、依頼がありました。

議員として、議会運営委員会の決定を重く受け止めることが重要で、また、議会だよりは、議会活動を市民の皆様を知っていたく唯一の広報誌であることから、慎重に協議した結果、議会だよりを編集発行していくことになりました。

市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、今後におかれましても、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

# 平成24年第2回定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● ※杉本公文議長を除く)  
賛成討論者◎ 反対討論者◎

種別	議案番号	案件名	付託委員会	氏家 隆信	久嶋 成美	東山 洋昭	村上 信行	小俣 修	小俣 宏之	川島 秀夫	田中 英明	山口 好昭	長田 喜巳夫	杉本 友栄	尾形 幸召	鷹取 偉一	久島 博道	服部 光雄	岡部 幸喜	尾形 重寅	審議結果	
専決処分の承認	第55号	上野原市税条例の一部を改正する条例制定について																			承認	
	第56号	平成23年度上野原市一般会計補正予算(第9号)																				
	第57号	平成23年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)																				
	第58号	平成23年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)																				
	第59号	平成23年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第4号)																				
	第60号	平成23年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)																				
	第61号	平成23年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)																				
	第62号	平成23年度上野原市病院事業会計補正予算(第2号)																				
条例制定・改廃	第63号	上野原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生																		原案可決	
	第64号	上野原市印鑑条例等の一部を改正する条例制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第65号	上野原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生																			
補正予算	第66号	平成24年度上野原市一般会計補正予算(第1号)	総務 文教厚生 建設経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	第71号	平成24年度上野原市一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
報告	第67号	平成23年度上野原市継続費繰越計算書の報告について																			受理	
	第68号	平成23年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	第69号	平成23年度上野原市病院事業会計継続費繰越計算書の報告について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
人事	第70号	上野原市島田財産区管理委員会委員の選任の同意について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
請願	第2号	上野原市巖保育所移設計画に伴う市巖出張所および四方津公民館の併設に関する請願書	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
動議		上野原市議会議長の不信任決議案		●	●	○	●	●	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

# 閉会中の文教厚生常任委員会報告

委員長 尾形 幸召



病院建設現場にて説明を受ける委員

五月八日、委員会を開催し、三月定例会で議決された閉会中の継続調査として、新病院建設の進捗状況について調査を行いました。

三月定例会中の所管事務調査では、駐車場等の外構工事や周辺道路改良工事の完成を六月中旬に予定、同時期に六業者が工事に関わる事から作業環境が困難を極めるため、本体工事を五月末まで工期延長し、全体工程

見直しの調整が必要との説明でした。

この説明に対し、委員からは、開院については余裕あるスケジュールにすべきとの意見が多く出されましたが、当局からは七月中旬の開院を目指したいとの回答で、五月連休明けには外構工事の目途が立つとのこと、再度委員会を開催しましたが、今委員会に提示された全体工程表では外構工事完成が七月末まで延期

された他、開発許可関係や建築確認関係については、外構工事終了後の八月末まで延期となり情報通信設備にあつては、開院準備期間を含め九月末となっていました。

説明では六月定例会に「上野原市立病院事業の設置等に関する条例」の改正案を提案し、可決後には、許可までに一ヶ月程度を要す開発許可申請、さらに三週間程度要す使用許可申請を県に提出し、また使用許可後は医療機器等のリハーサルに一ヶ月程度を要すること、これらを勘案すると開院は十月まで延びることとした。

三月の説明から、三ヶ月近く開院予定が延長されたことは納得ができず、委員からは、遅れた原因を質す意見や遅れた責任の所在を明確にすべきとの意見が多く出され、責任の所在は調整ミスによる市当局にあるとの回答であったため、住民説明



病院職員駐車場候補地付近通学路の現地調査

会の場や、市の広報で市民に謝罪するよう委員会として強く要請しました。

医師・看護師等の職員駐車場問題については、二ヶ所の候補地の説明を受け、合わせて二千平米、八十台の駐車確保できるとのことでしたが、現地を調査したところ、職員駐車場候補地は、狭隘な道路沿いに位置し、かつ通学路でもあるため、委員からは、非常に危険であるとの見解が多く出

され、児童の安全を確保するためにも、学校・PTA・住民からの意見聴取は欠かすことができず、当局には十分な対応を行うよう強く要請しました。

# 総務常任委員会報告

委員長 岡部 幸喜

六月五日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

## ●議案第六十六号

補正による財源調整を行った結果、財政調整基金繰入金を六百三万九千円増額するもの。

採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

## ●請願第二号

この請願は、旧四方津小学校跡地への巖保育所移設計画において、出張所機能と公民館活動の住民が融合する現在の機能を分散せず、保育所機能を



新消防庁舎建設についての調査

をプラスした「総合地域センター」としての市職出張所を併設することや、公民館関係では、会議室、音楽室、ステージ付集会ホール、高齢者用談話和室、湯沸し場、グラウンド内運動休憩室等を設置すること。また、保育所に併設される児童遊具は、地域共有とすることや充実した福祉施設への配慮などが主な請願事項でありました。

審査に当たり、当局から参考意見を聴取したところ、現在、福祉保健部では、保育所建設に向けた基本計画を作成中であり、旧四方津小学校の機能を含めた基本計画を検討していくとのことでした。教育委員会としては、公民館建設に対応できる補助制度がなく、財政的

に厳しいため、公民館建設は難しいが、現在、公民館事業としてのソフト事業の充実を図っているとのこと、今後も事業推進のための場所は必要であるとの見解でした。これらを踏まえ採決した結果、多くの各種団体の年間利用数の状況、地域の中心施設として住民に定着している点などを考慮すると、現状の機能を確保した施設整備が望ましいため、採択すべきものと決しました。なお、請願事項には規模の大きな内容も含まれていたため、財政面やスペースなどを十分考慮し、実現可能な施設として検討するよう委員会の付帯意見としました。

## 所管事務調査

新消防庁舎建設について現況調査を行い、各地域で行った住民説明会の意見等や進捗状況の報告を求めました。

住民説明会は、市内各所で行い、述べ二百六十九名の市民に参加をいた



巖保育所移設予定の旧四方津小学校跡地

だき、多くの意見・要望等を伺ったとのこと。今後の建設に当たっては、住民説明会での多くの意見や要望に十分配慮し、これまで行った他市の視察調査結果も踏まえる中、よりよい消防庁舎建設に向け努力されるよう当局に要望しました。

# 文教厚生常任委員会報告

委員長 尾形 幸召

六月十四日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

## ●議案第六十三号

上野原市立病院の新築移転に伴い、位置、病床数及び診療科目の変更を

行うもので、循環器科を循環器内科、肛門科を肛門外科に名称変更し、産婦人科を削除して神経内科を追加するものです。

病床数については、百五十床を百三十五床に改正、委員からは常勤医師確保の要望が強く出まし

## ●議案第六十五号

上野原市就労支援員の設置に伴い、報酬を月額十八万円の範囲内で市長が定めるものです。

## ●議案第六十六号

福祉課所管の主な補正内容は、就労支援員の経費を賃金から報酬、職員手当に科目変更し、また子ども手当での支給等に関する特別措置法が廃止されたことに伴い、子ども手当費について四月・五月支給分五千六百八十八万円を減額し、同額を新たに児童手当として増額補正するものです。

長寿健康課所管の補正予算は、健康管理ふれあいキット作成配布事業三十六万四千円を財源更正するものです。

教育委員会所管の主な



慎重に審査する委員

た。

補正予算は、可搬型階段昇降機の配置費用と、社会教育費では浜沢大ケヤキの保護費を増額するものです。

以上、当局提出の補正予算三案件は、全会一致で可決すべきものと決しました。

## 所管事務調査

### 「地域包括支援センター」

地域包括支援センターは長寿健康課内に設置されていますが、高齢者や要支援者などの尊厳を保持するため、独立したセンターとして目的に沿ったきめ細かな運営を求め意見が出されました。

### 「新病院建設」

職員駐車場問題について閉会中に引き続き調査しました。羽佐間の候補

地については、狭隘な道路沿いのうえ、交通量調査によると、二百名を超える通学路でもありません。

全国的に通学路の見直しがあり、再検討を求めました。

当初予定していた旧役場跡地は、防災機能をもった多目的広場として病院職員駐車場とは切り離して計画していきたいと

なお、現病院の解体工事は、十一月に工事着手し、年度内に完了の予定であるとのことでした。



防災機能をもった多目的広場として計画されている旧役場跡地

# 建設経済常任委員会報告

委員長 尾形 重寅

六月十八日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

## ●議案第六十六号

勤労青少年ホーム屋上  
が漏水し、早急に修繕する必要があるため、勤労青少年ホーム管理費を二

百八十万円増額補正する  
ものです。

当案件につきましては、採決の結果、全会一致で異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。



緑と太陽の丘キャンプ場の大型宿泊施設

## 所管事務調査

### 「緑と太陽の丘キャンプ場」

大自然を手軽に楽しめるリゾート地として、昭和六十三年に開業され、毎年多くの利用客で賑わうとのことですが、現地を視察したところ、大型宿泊施設が、現在使用出来ないほど老朽が進んでおりました。

また、テニスコートについても未整備のまま使用できない状況であり、施設の修繕には相当の費用が見込まれます。

委員からは、施設の費用対効果や市の財政状況を見据えた中で、改善を図っていくのか否かということを、慎重に検討すべきであり、修繕するのであれば、地場産の木材を利用するなど、癒しの

空間として景観にあった施設を整備すべきとの意見が多く出されました。

### 「神野ふれあい農園」

遊休化した農地の活用と、釣り場やキャンプ場、温泉などの観光施設を利用することにより、都市と農村の交流を図り、活性化につなげることを目的として、中山間地域総合整備事業により、平成十四年に開設されました。

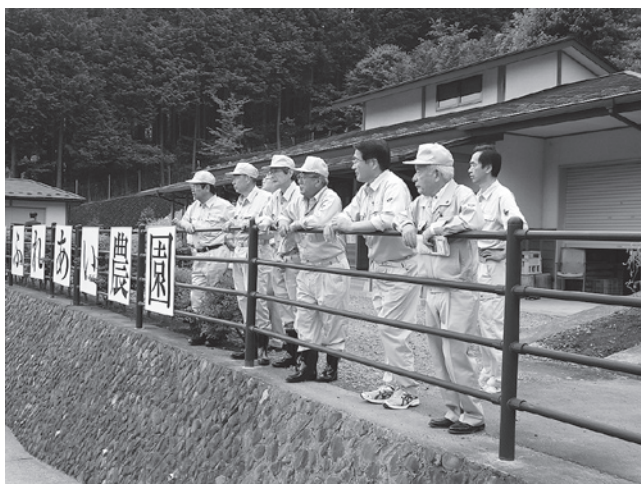
農園面積は六千二百二十九平方メートルで、百四十七区画に整備され、施設内には管理棟をはじめ、農機具倉庫や耕運機等の貸し出し用農機具も完備されておりました。利用料金は、一平方メートルあたり年間二百円で、現在七十八区画に三十名が利用しているとの

ことでした。  
風光明媚な場所でありながら、現在の区画利用率が五十三%と非常に低い

ため、委員からは「ホームページや広報等でPRの強化を図り、積極的に県外に出向き、パンフレットを配布するなど、利用者を増やしてい

くための努力をすべき」との意見が出されました。

また、貸し出し用の手押し耕運機については、現在損害保険に加入していない状況となっており、ため、今後は速やかに加入手続きを行うよう、当局に強く要望しました。



神野ふれあい農園での調査

一般質問



東山洋昭 議員

その他質問

◆新設された危機管理監について

**デマンドタクシー実証運行について**

**質問** 目的と半年の利用実績は。

**答弁** 生活環境課長 二二年度に作成した市地域公共交通総合連携計画に基づき、高齢者や自動車運転免許を持っていない運転困難者などを中心とする市民の皆様の移動手段の確保や、市内に点在する交通空白地域を解消することなどを目的とし、

昨年十月より開始しました。去年の十月より今年の三月に比べると、七十二％増加しています。

**質問** 委託料支払額と利用者運賃の収入は。

**答弁** 生活環境課長 委託料が八百五十二万五五百円、運賃収入が百五万九千二百五十円、差し引き、七百四十六万二千二百五十円を委託業者に支払いました。また本年四月からは第一、第四地域ともに、一日八便のうち、運行した便は一便当たり

三千円、運行しない場合は一便当たり二千円、予備車両が運行された場合は一回につき三千円という契約となっています。

本年三月と四月に委託業者に支払った金額を比較すると、約二十七万六千円減少しています。

**質問** 持続可能な事業にするための方策は。

**答弁** 生活環境課長 国において、地域公共交通確保維持改善事業費補助金が創設され、補助対象経費の合計額の二分の一と、市町村ごとに算定される国庫補助上限額のいずれか少ない額以内を限度に交付されます。それらが利用できるよう現在努力しています。

**質問** 利用率向上策は。

**答弁** 生活環境課長 向上策については、停留所の増設、また高齢者の利用が多いことから、U B Cにお願ひし、利用されている方を取材して、利用の予約から乗降者まで映像と

してわかりやすく行政放送で放送していただくことなど、また本年四月から運賃を中心市街地に近い一部地域を五百円から三百円に引き下げました。

**意見** 私は地域の中心市街地というものを一つ定義をさせてもらいたい。市商工会が昨年十一月に作成した上野原ふれあい商店街マップを利用すれば、

色々な部分で市民のニーズにこたえられるのではないかと思えます。その案内図を見ながら、まず対応をお願ひしたい。それから、本年六月一日から始まりました上野原市振興券「絆」、この利用事業所に行く場合も、当然ながらその地域振興券は五百円になっていますから、その五百円が利用できればいいかと。振興券の利用は十一月までやっており、

早急な地域交通活性化協議会に図り、検討していただきたいと思えます。



小俣 修 議員

**通学路の安全確保**

**質問** 山梨県内では、県警が小中学校の通学路の点検を始めたとの報道がありました。市はどのような取り組みを通じて安全確保を行っているのか。

**答弁** 教育学習課長 登下校時に教職員が付き添い、実際に危険箇所等の確認を実施。又児童、生徒に自分の身は自分で守る生き生きする力をつける指導を行っている。歩道の設置、拡幅、横断歩道の設置は関係部署に要望を提出するなど対策を行っています。

**質問** 島田コミュニティセンター前より島田小学校体育館下迄、児童の安全を守る為、白線を引いて歩道と車道の区別をお願ひしてきましたがどうなっていますか。

**答弁** 建設経済部長 県道交差点から白山橋まで舗装の打ち直し計画が有り半分弱残り残りを来年度予定しており舗装後白線を引き、歩道部にグリーン

ベルトを表示いたします。

**質問** 新病院職員用駐車場を羽佐間の非常に狭く直角のカーブも有り見通しの悪い通学路に指定された道路に面した場所に計画されているようですが、通学時間と通勤時間が重なり児童の安全確保が及びやかされます。計画の白紙撤回を求めます。

**答弁** 長寿健康課長 調査の結果七時二十分から八時五分の間に九十九名の小学生が通学しました。対応策として、駐車場の使用を八時以降とし通学と重ならないように検討し、又道路への進入を東側、西側のどちらか一方からといった事も検討しています。児童、生徒の安全を最優先にした中で検討していきたい。

**上野原駅周辺整備事業**

**質問** 対象地域で地権者の同意が得られない場合、当初プランの変更を考慮していくのですか。  
エレベーター、エスカレー

ターの設置はいつを予定していますか。

**答弁** 市道松留中新田線の整備は周辺整備の中に織り込まれた事案ですか。

**答弁** 駅周辺整備推進課長 作成中の事業計画は、最善案で有り、一部地権者の反対もあるが計画変更は無く協力を得られるよう説得を続ける考えです。二十五年は公共施設用地買取等を予定しており、エレベーター等の整備は二十六年以降になると考えています。市道松留中新田線の整備は、土地区画整理事業エリアに市道の一部を含めて区画整理と同時に道路改良の予定であります。

**情報通信基盤整備事業**

**質問** U B Cから光ファイバーケーブル貸出料の納付状況はどうなっているのか。  
**答弁** 企画課長 二十二年分は完納、二十三年分一千万円が未納です。





山口好昭 議員

その他質問

- ◆芦瀬地内河川護岸改修について
- ◆統合後の学校施設の活用について
- ◆医師看護師などの駐車場について

基盤整備について

**質問** 当市の市道路線数及び二十三年度に於ける区長等からの改修要請件数は。

**答弁** 建設経済部長 約八百の市道路線があります。要請数は陳情書によるものが四十四件、口頭等によるものが三百件です。

**質問** 梅雨、台風シーズンのためですが二十三年度の災害関連の改修は。

**答弁** 建設経済部長 市道用竹和見線は、既に着工し市道小桐線入口の箇所は既に入札が終わり六月に着工予定で市道桐原線小和田地内も工事改修予定に入っております。市道登下線崩落箇所は、国の事業で行います。また市道小桐線もう一ヶ所の岩盤崩落場所は難工事が予想され現在検討中です。

**質問** 県道丹波山線の改修計画は。

**答弁** 建設経済部長 県道丹波山線は、当市、小菅村、丹波山村で丹波山線

道路整備推進連絡協議会を設置して県へ改修要請を行っています。

**意見** 二十三年四月、県議、市議、区長会長、職員で丹波山線整備促進委員会を設置して四回に亘り協議、現地調査を行った。トンネル化も協議されたが現状拡幅を確認し、四回目には、全線の危険箇所を優先順位をつけたカルフテを協議し、桐原地内大垣外まえ通称ムレの箇所は、地権者の同意が得られれば二十四年度に継続して二十五年度、二十六年度で片側一車線の完成を目指し、愛の泉の箇所は、県の評価委員会にかけ二十七年後後に橋梁の設置が協議された。

**質問** 新市立病院の開院予定、医師、看護師の確保、救急、入院の受け入れ科、併科受診は。

**答弁** 長寿健康課長 本體工事は終わり外構工事の工期を七月末まで延長し

医療機器は既に新病院へ設置を始めています。

開院は、十月初旬を予定し医師は十二名、看護師は六十七名を目指します。現在医師七名、看護師五十七名であり指定管理者である地域医療振興協会と連携し確保に努めます。併科受診は、内科、小児科、脳神経外科、整形外科の四科で入院は、内科、脳神経外科です。

**質問** 高度医療機器を備えた立派な新病院が建設されます。二次医療機関として入院患者の受け入れ、救急搬送の受け入れは新病院の使命です。

**答弁** 市長 医療の充実は当市の最重要課題として新病院の構築を進め十月初旬の開院となりますが重要なことは、ソフトの面の充実です。現在、指定管理者は、契約要望に沿っていないが市民のニーズに定める病院の確立をしていく決意であります。

**質問** 産婦人科新設に関する要望は強いが。

**答弁** 長寿健康課長 産科医の確保は厳しい状況であるが、スペースの確保は出来ているので医師の対応が出来たところで、地域医療振興協会と検討をしていきたいと考えています。

新病院開院について

**質問** 開院日程は決まったか。

**答弁** 長寿健康課長 八月機器搬入、九月引越し、開院は十月初旬の予定です。

**質問** 開院直前の病院長の更迭は。

**答弁** 長寿健康課長 両角前病院長の退任人事は、地域医療振興協会の人事であり、「自己都合」の申し出があったと聞いています。

**質問** 産婦人科新設に関する要望は強いが。

**答弁** 長寿健康課長 産科医の確保は厳しい状況であるが、スペースの確保は出来ているので医師の対応が出来たところで、地域医療振興協会と検討をしていきたいと考えています。

**質問** 予算化された調査費、発注内容は。

**答弁** 駅周辺整備推進課長 駅舎周辺を含めたバリアフ



川島秀夫 議員

その他質問

- ◆議会放送は、全市民に機会均等受信できないか。
- ◆インターネット配信は進んでいるのか。
- ◆コモアにDVD録画、配信できないか。

リー化事業を検討するための現況調査、全体経費や概算工事費の算出、事業化に伴う問題点や課題の整理を行う事業。これを基に整備メニュー、優先順位、財源の検討、JR東日本との協議にも活かす考えです。

**質問** 何時発注するのか、完了予定は何時か。

**答弁** 駅周辺整備推進課長 近日中(六月中)に発注する予定です。調査業務の完了時期は、半年位の契約工期を考え、十二月頃を予定しています。

**質問** 旧四方津小校舎と新保育所建設予定について

**質問** 新保育所建設の進捗状況は。

**答弁** 福祉保健部長 大目、甲東、巖ブロックの新保育所建設は、先月(五月)二十九日設計業務の委託業者が決定し、契約締結をしました。基本設計並びに実施設計の業務に着手しています。

**質問** 旧四方津小校舎、

巖出張所、公民館をどうするのか。

**答弁** 福祉保健部長 旧四方津小校舎については、耐震基準を満たしていない状況から取り壊す方向で関係各課と協議を行っています。出張所、公民館機能についても関係各課で検討を進めています。今回工事発注をした基本設計の工期の中で、関係課と調整しながら、詳細は詰めていきます。

**質問** 地元から現在の機能を残して欲しい「請願」も提出されているが。

**答弁** 江口市長 旧四方津小校舎は老朽化が激しく耐震診断対象外で、取り壊すことが大前提であり、その土地を有効活用するため、保育所建設が先ずその一つ。既に保育所を発注しているが、土地全体をどのように有効活用するか担当課で協議し、業者と相談しながら計画を立てていきます。



服部光雄 議員

地域防災計画

【質問】市は今回危機管理監を設けたが、危機管理の対象は最初余り拡げず、地震対策それも県東部を震源とする突発地震対策から始めるべきである。

【答弁】総務部長 危機管理監が考えます。

【質問】まず市・諸団体・市民の防災対応の現状把握から始めるべきである。公・私立全ての学校・幼稚園等（教育委員会）病院・福祉施設・保育所等（福祉保健部）

JR駅・道路公園・スーパー等（建設経済部）

【質問】水料金値上げの問題で、市は関係ない」という訳にはいかない。

【答弁】総務部長 危機管理監がまとめていきます。

【意見】危機管理監はスタッフで指揮命令権はない。大切なのは地震が発災してから考えるのではなく、事前に全て計画準備されている、住民も病院も、各事業者もそれに従って行動すればいいようにしておくことである。

【答弁】総務部長 危機管理監を中心、これから検討します。

【質問】実行計画策定に当たってはなにより発災時に①市にできるものとできないもの②市民・各団体の自助・共助に任ざるを得ないもの③国・県・全国組織団体の支援を待つものを明確にし、それを市民始め市に關係する各方面・団体に連絡・徹底しておかなければならぬが、この策定作業はどこから始めるべきか。

【答弁】総務部長 危機管理監がまとめていきます。

【意見】危機管理監はスタッフで指揮命令権はない。大切なのは地震が発災してから考えるのではなく、事前に全て計画準備されている、住民も病院も、各事業者もそれに従って行動すればいいようにしておくことである。

【質問】水料金値上げの問題で、市は関係ない」という訳にはいかない。

【答弁】企画課長 企業団は独立した地方自治体で議会もあり、構成員は上月・上野原両市なのをご理解下さい。

【意見】独立しているからこそ意見はいうべきである。

【答弁】企画課長 本年二月からこの問題を含めてUBCと五回程協議しています。

【質問】番組制作費は年度ごとに更新契約を行っています。契約時に条件をつけ、クリアするのが一つの対策、また、発電と送電の分離のように、制作と放送を分離する発想を持ちながら協議できないか。

【答弁】企画課長 協議を重ねても解決が図られなければ、行政放送のあり方にも踏み込んで、再検討をする必要があります。情報基盤整備事業活用等の推進委員会を設置したので検討をしていきます。



氏家隆信 議員

インターネットによる行政放送について

【質問】いまだに行えないのはなぜか。

【答弁】企画課長 番組の制作並びに放映を行っているUBCと著作権法の権利調整を引き続いて行っています。一つの著作物に市とUBC、二者の権利が存在しその利用方法に意見の食い違いが生じており、現在、互いの利用方法等につきまして影響が出ないような解決策を双方で検討しています。

【質問】今まで何回くらい話し合いをしているか。

【答弁】企画課長 本年二月からこの問題を含めてUBCと五回程協議しています。

【質問】番組制作費は年度ごとに更新契約を行っています。契約時に条件をつけ、クリアするのが一つの対策、また、発電と送電の分離のように、制作と放送を分離する発想を持ちながら協議できないか。

【答弁】企画課長 協議を重ねても解決が図られなければ、行政放送のあり方にも踏み込んで、再検討をする必要があります。情報基盤整備事業活用等の推進委員会を設置したので検討をしていきます。

デジタルサイネージ、電子看板について

【質問】市民に広く情報を提供する手段としての活用は。

【答弁】企画課長 先進事例を含めて設置場所、発信すべき情報の内容、協力いただける事業者等導入に向けての課題等を洗い出し、関係課とともに適否を判断し検討します。

【質問】SNSについて

【答弁】企画課長 情報端末機器の普及と相まって、SNSと言われます。SNSやフェイスブックなど新たなコミュニケーションの手段が急速に広がっており、SNSの利用者の動向等に関心を払い、本市における導入についてどのようなツールを選択するかを含めまして、見極めてまいります。

【質問】行政区というものは何行政区あり、その「コミュニティ施設、集会所」にAEDを設置する考えは。

【答弁】総務部長 市内では九地区百十一区の自治会があり、集会所に公費で設置しているところがないのが現状です。それぞれの自治体の集会所にAEDを設置することは予算的にも大変大きいものがあるかと思えます。今後、財政当局と協議するとともに、補助制度はないかと調査していきたいかと思えますので、共助の観点から地区での取得方法について検討をしていきたいと思えます。

【答弁】企画課長 協議を重ねても解決が図られなければ、行政放送のあり方にも踏み込んで、再検討をする必要があります。情報基盤整備事業活用等の推進委員会を設置したので検討をしていきます。

一般質問



尾形 幸召 議員

**質問** 中山間地域の集落別避難場所設定と各個人は三日間の食料備蓄の徹底と防災持ち出し袋の身点検の実施を。

**答弁** 総務部長 甲東地域の避難場所としては最も安全な場所は旧平和中学校です。集落ごとの避難対策は孤立集落が発生した場合に備えるための衛星携帯電話とバッテリーの充電ができる発電機の購入予算十台分を今年度計上済み、また、避難対策としてヘリコプターによる救急搬送も想定されます。市内には飛行場外離着陸場が七ヶ所、ヘリコプター使用発着所は六ヶ所あります。災害発生時には、三日間の食料・水の確保を自助対策として市民にお願いしています。独居高齢者にアルファ米・保存水等も用意。広報・音声告知端末などで非常持出し品・備品の告知をしていきます。

**質問** 上野原市の小中学

生の給食費の滞納はあるか否か、また全国・山梨県の滞納額と件数の平均は。

**答弁** 教育学習課長 給食費の徴収は各学校現場で実施。現時点では各学校から滞納報告はありません。二十二年度調査では全国で約一%が学校給食費の未納があり、金額で五千二百万円。県の中学校の未納件数割合は五十二・三%。未納額の割合は総額の〇・五%です。

**質問** 各種がん検診受診率の現状とその向上策について。

**答弁** 長寿健康課長 各種がんの四十歳以上の全体の検診別受診率は二十三年度実績値で肺がん検診二十九・九四%、乳がん検診二十七・七三%、胃がん検診十八・九九%、肝がん検診二十六・〇六%、大腸がん検診二十九・〇四%、子宮がん検診十九・二六%の実績です。資料によると七十五歳以

上の検診率は十四・九七%で乳がん五・〇八%、胃がん五・七五%、肝がん九・四七%、大腸がん八・六九%、子宮がん〇・八五%の実績であります。

検診受診率向上対策としては、国民健康被保険者に対する受診勧奨や申し込み葉書の個別通知、受診率の低い子宮がん検診への取り組みとして二十歳以上を対象にします。

**質問** 検診率目標と未達理由は何か。

**答弁** 長寿健康課長 市の健康増進計画をもとに全がん検診の目標は受診率三〇%です。目標未達成理由は定期的継続的に受診が成されていない事が最大要因です。

**意見** 社会保険加入者で零細企業に働く従業員の検診状況把握と、低負担金で市の検診受診ができるよう勧奨促進に取り組み。



長田 喜巳夫 議員

その他質問

- ◆農山漁村活性化プロジェクト支援交付金関連
- ◆通勤者対策について
- ◆鳥獣害対策について

**自治基本条例の制定について**

**質問** 制定に当たっては、どのようなまちづくりを目指すのか、このことを明確にすることが必要である。多くの人が訪れられる魅力的なまちをつくり上げ、この延長線上で定住者の確保を図る。そのためには、市民との協働によりつくり上げていくことです。現在の取り組み状況は。

**答弁** 市長 全国の制定状況や特徴のある条例を制定している自治体について現在研究しています。住みよいまちをつくるためには、市民と行政が協力しながらつくっていくことです。本年度中には策定していきます。

**質問** 現在の進捗状況と今後の工程は。

**答弁** 駅周辺整備推進課長 二十五年度の土地地区画整理事業の事業認可に向け、今年三月に地権者に

よる組合設立準備会が設立され、準備会とともに事業計画の作成を行っています。また、道路管理者やバス事業者、鉄道事業者などと協議を重ね公共施設の基本設計を決定する段階となっております。

今後の工程については、二十四年度は、公共施設の実施設設計やエレベーター、エスカレーターなど構造物の詳細設計を行います。二十五年度には、土地地区画整理の事業認可、公共用地の買収を予定しています。工事着手については、二十六年以降を予定しています。

**都市と農山漁村の共生・対流とは**

**質問** 都市と農山村を交う新たな生活様式を構築して、人、モノ、情報の行き来を活発にする取り組みである。この施策に食と地域の交流対策交付金制度がある。見解は。

**答弁** 経済課長 国が地域を直接支援する制度であり、積極的な関わりを持つていきます。



久島博道 議員

その他質問

◆交通安全対策

防災・減災対策

質問 ①学校施設、避難

所等の非構造材の耐震化と国の財政支援の活用は②SNSを利用した防災・行政情報の発信は③被災者支援システム構築の進捗状況は④要援護者管理システムと個人情報共有化は⑤老朽化した公共施設・インフラ等の改修で「災害に強いまちづくり」は⑥道路や橋梁など社会资本整備のため維持管理と工程表の策定は。

回答 教育学習課長

学校施設の非構造部材の耐震化は、今年度全小中学校を対象に建築士などの点検を行う委託費百十五万五千円を予算計上しており、ガイドブックに沿って今年度は全小中学校を対象に専門家による点検を行うための委託費を予算計上しており、順次進めていきます。

回答 総務部長

SNSの活用は利用者の動向等に関心を払い、多くの方に

防災情報がお伝えできるよう検討します。

被災者支援システムのセットアップは五月中旬に完了、今後はクラウド化、共同利用化、バックアップ体制のために関係部署と連携協議をします。

要援護者管理システムの個人情報等の取扱いはその目的、運用方法等を考慮し、市民の生命、身体保護のため積極的な活用を図ってまいります。

災害に強いまちづくりですが、当市は山間地の市道や橋梁が破壊されることで集落が孤立し、急病人が出た時は重大なケースが想定されます。

現在の橋梁などのインフラは、昭和四十年代後半から整備されたものが多く四十年以上を経過しており、現在橋梁等を対象に社会资本整備総合交付金を財源に平成二十三年度に十五メートル以上を八十五橋、今年度は十五メートル未満を百六十

一橋の点検整備を行う計画です。

地域維持事業

質問 地域の建設業者

は、災害対応、除雪、インフラの維持管理などで普段地域維持のために重要な役割を担っている。しかし企業の小規模化と採算性の低下で地域維持事業を行える企業が減少している。

回答 総務部長

地域維持事業の委託事業内容は、複数の業者で構成する地域維持型JVの活用は②入札、発注は複数の仕事や工区をまとめた契約単位、複数年を契約単位とする包括発注の導入は。

事業は道路及び公共施設など多種多様でありながら、企業の小規模化、建設機械等の経費など経営が厳しく地域維持事業の担い手が減少しつつある、関係部署と協議して対応を図ってまいります。



村上信行 議員

その他質問

- ◆給食食材の放射線検査の現状について
◆地域の活性化と振興について
◆市役所の部、課間の連携について
◆行政改革について
◆行政と市民の協働について
◆情報公開について

通学路と市立病院職員駐車場について

質問 羽佐間地区に計画

されている病院職員駐車場に対し、多くの人が不安を感じているが、担当課や教育委員会は事前に学校、地域などと協議をしたのか。

回答 長寿健康課長

教育委員会、小中学校長、地域の区長には一昨日に説明しました。

質問 この問題は、教育

委員会が先頭に立って調整すべきことではないか。

回答 教育長

児童生徒の通学路については、学校、保護者、地域で相談をしてもらっており、今後対策をとります。

質問 ①この場所以外を

考える。②この場所とするなら歩道を作るなどの安全対策をとる。③前二点が難しい場合、「ミニ公園」として計画している旧役場跡地を仮駐車場として使用してはどうか。

回答 市長

旧役場跡地の

広場と駐車場の問題は、切り離して考えたい。駐車場については場合によっては再検討します。

ファイバーリサイクルについて

質問 「ファイバーサイ

クル」は、昨年にクリーンセンターに常設となったが、その成果はどうか。また資源ごみ回収と共にこれも行ったらどうか。

回答 生活環境課長

二三年度は、四千二百二十キログラムの回収があった。回収方法は資源ごみ回収日と合わせたり、拠点回収など検討します。

東日本大震災災害廃棄物

処理受け入れについて

質問 災害廃棄物受け入れについての議員提案が可決されたが、その後市や

県の対応は、これは慎重

に扱うべき問題と思うが。回答 生活環境課長 放射線物質の安全性、最終処分場等の問題で受け入れられません。

回答 市長

住民の不安は

現状ではクリアできていない。上野原市は受け入れられません。

防災訓練での放射線災害

への対応について

質問 昨年のこの質問に

対し、訓練に入れるよう検討することのことだったが。回答 総務部長 万一事故が発生した場合、正確な情報を伝える体制を整えています。

回答 市長

ヨウ素剤については、県や関係機関と検討するが、原発の問題をどうすべきかというところの方がより重要な問題です。市政のあり方について

質問 環境政策都市への

思いは。

回答 市長 市役所、新病院には太陽光発電パネルを設置した。「再生可能エネルギー固定買い取り制度」のスタートなどに伴い、

本市としても「メガソーラー発電」の検討、「小水力発電」への取り組みなどを進め、環境にやさしいまちづくりに邁進したい。

# 杉本公文議長の不信任決議案が可決される

## ● 経過 ●

3月定例会において、議長の辞職勧告決議案が賛成多数で可決されていましたが、依然として議長職に留まっていることなどから、6月定例会においては、議長に対する不信任決議案が動議で提出されました。

## ● 提案の要旨 ●

先の3月定例会において杉本公文議長に対する議長辞職勧告決議を賛成多数で可決しています。

その理由は、昨年12月第4回定例会で、議会が可決、承認した歳出予算を議長個人としてその執行を認める訳にはいかないと、市長を告訴したことによるものであり、これは議長の中立性に反し、告訴するなら議長を辞任し、一議員に戻って行くべきであります。

しかし、議長はこの辞職勧告を一顧だにせず、なお裁判を続けています。このような議長の行動は納得できないとして、議長が発行責任者である「議会だより」編集委員会の過半の委員から辞表が提出されるという異常な事態となっています。

事態を重くみた議会運営委員会は議長との調整を図りましたが、ここでも議長には辞職の意思は全くなく、町以来の永い歴史を持つ「議会だより」の発行も一時中断するかもしれない状態に陥っています。

この問題を調整中に、議長に対する更に大きな問題が浮かび上がってきました。

それは、上野原市議会を代表し、議会事務局を指揮して日常業務を処理しなければならない議長が、減多に議会に出勤しないという事実です。

議長は議会を代表して外部と折衝し、来客と会い、市当局と各種調整を行い、事務局の事務を統括し、書類の決裁を行う必要から、できれば毎日、少なくとも週に数日は議会に出るのは義務であり、そのために議長手当も付いています。

私達は先の辞職勧告に何の反省もなく、このことが議会だよりの発行を難しくし、何よりも議長にあるまじき勤務状況の杉本公文君に引き続き議長を任せる事は到底できないと判断せざるをえません。

そこで、今回あらためて議長不信任の決議を行うことによって、杉本公文君に強く議長の辞任を迫るものです。

提出者 杉本友栄議員 賛成者 久島博道議員 山口好昭議員

## ● 結果 ●

反対・賛成討論の後採決したところ、賛成11人、反対5人となり、賛成多数で可決されました。

an inspection

## 行政視察来庁

—千葉県香取郡東庄町議会—  
とうのしょう

6月21日、千葉県香取郡東庄町議会・文教福祉常任委員会が、当市の学校適正配置や教育施設の整備状況について視察、調査されました。



## 議員研修会

—地方議会の改革について—

6月28日、議会研究の第一人者である、全国都道府県議会議長会の元議事調査部長の野村稔氏を講師に招き、「議会改革と議会基本条例について」の研修会を行いました。

議会改革の必要性や進め方など3時間にわたる講義のあと、議員から活発な質疑が行われました。

a city  
assembly  
workshop



## 第3回 定例会

### 会 期 日 程

- 九月 七日(金) 本会議(議案上程等)
  - 九月 十日(月) 市政一般に関する質問
  - 九月 十二日(火) 市政一般に関する質問
  - 九月 十二日(水) 市政一般に関する質問  
(予備日)
  - 九月 十三日(木) 決算特別委員会
  - 九月 十四日(金) 決算特別委員会
  - 九月 十八日(火) 決算特別委員会  
(総括質疑を含む)
  - 九月 二十日(木) 総務常任委員会
  - 九月 二十一日(金) 文教厚生常任委員会
  - 九月 二十五日(火) 建設経済常任委員会
  - 九月 二十八日(金) 本会議(議案審議等)
- ※正式には、定例会の本会議(初日)に決定  
します。

## 近隣との連携

### 上野原あきる野線建設促進協議会

五月十六日、上野原市文化ホール会議室にて、桧原村及び上野原市の多数の関係者が出席し、第二十五回主要地方道上野原あきる野線建設促進協議会定期総会が行われました。

二十三年度事業報告及び収支決算報告、また二十四年度事業計画(案)及び収支予算(案)が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

その中で、あきる野線道路整備を早期に実現するため、両市村の諸問題を調査研究し、行財政上の具体的方策を協議し、その実現を関係機関に対し協力を働きかけることを協議しました。

### 上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会

五月二十四日、丹波山村郷土民族資料館にて、丹波山村、小菅村及び上野原市の多数の関係者が出席し、上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会第十八回定期総会が行われました。

二十三年度事業報告及び収支決算報告、また二十四年度事業計画(案)が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

その中で、あきる野線道路整備を早期に実現するため、両市村の諸問題を調査研究し、行財政上の具体的方策を協議し、その実現を関係機関に対し協力を働きかけることを協議しました。

五月二十四日、丹波山村郷土民族資料館にて、丹波山村、小菅村及び上野原市の多数の関係者が出席し、上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会第十八回定期総会が行われました。

二十三年度事業報告及び収支決算報告、また二十四年度事業計画(案)が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

その中で、あきる野線道路整備を早期に実現するため、両市村の諸問題を調査研究し、行財政上の具体的方策を協議し、その実現を関係機関に対し協力を働きかけることを協議しました。



4月～6月

# 議 会 活 動

## 4月

- 4日 議会だより編集委員会
- 5日 市内小学校入学式
- 7日 上野原高等学校入学式
- 8日 秋山地区戦没者慰霊祭
- 11日 議会だより編集委員会
- 16日 第247回山梨県市議会議長会定期総会(甲州市)
- 18日 議会だより編集委員会
- 25日 上野原市区長会通常総会  
関東市議会議長会定期総会
- 27日 平成24年度市町村長及び市町村議会議長会議  
議会だより編集委員会
- 29日 大目地区慰霊祭

## 5月

- 10日 上野原市母子寡婦福祉連合会総会
- 16日 主要地方道上野原あきる野線建設促進協議会定期総会
- 19日 太陽のつどい
- 22日 平成24年度議友会総会
- 23日 全国市議会議長会定期総会
- 24日 上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会総会  
上野原市商工会通常総代会
- 26日 北都留森林組合通常総代会
- 27日 上野原市体育祭り

## 6月

- 5日 第2回定例会開会
- 7日 市政一般に関する質問
- 8日 市政一般に関する質問
- 9日 上野原市身体障害者福祉会通常総会
- 10日 八重山トレイルレースプレ大会
- 12日 総務常任委員会
- 14日 文教厚生常任委員会
- 18日 建設経済常任委員会
- 20日 第2回定例会閉会
- 24日 北富士駐屯地創立52周年記念行事
- 27日 上野原市観光協会定期総会

## 市民の声



上野原市公民館  
連絡協議会会長  
奈良 篤さん

子どもたちに「心の笑顔」を

中央公民館の事業に、児童を対象とした「上野原自然探検隊」があります。今年で十一年目を迎える息の長い活動です。

市内在住の教員と帝京科学大学の学生サポーターの支援を受けて、自然の中で年間十回ほど活動を行っています。参加した子どもたちは、仲間の隊員や学生サポーターと様々な自然体験を通して人間関係を深め、豊かな心を育んでいます。

二年前、その上野原自然探検隊の文集を読ませていただく機会がありました。満足感・達成感・喜びの感動が生み出す「心の笑顔」。もっともっと多くの子どもたちに持たせることができれば、いじめや多くの問題行動は減っていくのではないかと、今、改めて思っています。



## あとがき

第二回定例会「議会だより」をお届けします。「議長不信任決議案可決」による、議会だより発行について、議員全体で協議をしました。時間をかけて議論を続けましたが、結論は出ませんでした。

しかし私たちには、市民の皆様に、議会の様子をお伝えする義務があります。今回は、一ヶ月遅れましたが、市議会として発行することにいたしました。委員一同発行が遅れましたことを、お詫び申し上げます。

### 議会だより編集委員会

- 編集委員長 山口 好昭
- 副委員長 杉本 友栄
- 委員 川島 秀夫
- 委員 小俣 宏之
- 委員 東山 洋昭
- 委員 氏家 隆信

発行 / 上野原市議会 山梨県上野原市上野原 3832 番地  
編集 / 上野原市議会だより編集委員会 TEL : 0554-62-3344(直通)  
URL : <http://www.city.uenohara.yamanashi.jp>  
E-mail : [gikai@city.uenohara.lg.jp](mailto:gikai@city.uenohara.lg.jp)

印刷 / カヤマ印刷  
上野原市上野原 3768  
TEL 0554-63-0188

